

“民具”を通じて日本の文化を学ぶ

2021年度・成城大学民俗学研究所 公開講演会
「モノ語り・コト始め～民具の読み方を探る～」

【日時】2021年12月11日（土）13：30～15：00 【会場】成城大学3号館

成城大学（東京都世田谷区 学長：戸部 順一）は、成城大学民俗研究所が主催する講演会「モノ語り・コト始め～民具の読み方を探る～」を、2021年12月11日（土）に開催いたします。

今回の講演では、民具の世界を多様に探求してきた武蔵野美術大学の名誉教授・神野善治氏をお迎えし、縄文時代から日本の生活文化で使われてきた「民具」について、民俗的な造形物の「形態」と「機能」の基本的なあり方を捉えるユニークな手法を紹介いたします。神野先生が、若いころから考え続けてきた「民具」の読み方を探ります。

成城大学民俗研究所は、日本民俗学の創始者で近代日本を代表する思想家の一人でもある、柳田國男の寄贈書を納めた「柳田文庫・民俗学研究室」を基盤とし、1973年に設立以降、日本の民俗文化及びこれに関連する研究、調査並びに資料の蒐集を行っています。今後も民俗学の普及進展に貢献してまいります。



<講師プロフィール>

神野 善治（かみの よしはる）氏

1949年 東京都生まれ。慶応義塾大学卒。武蔵野美術大学名誉教授、博士（民俗学）。

〔おもな著書〕

『人形道祖神—境界神の原像—』白水社 1996（第36回柳田賞受賞）、『木霊論—家・船・橋の民俗』白水社 2000、『くらしの造形 手のかたち・手のちから』（編）武蔵野美術大学出版局 2019、他。

<開催概要>

日 時 : 2021年12月11日（土）13：30～15：00（受付開始 13：00～）

タイトル : 「モノ語り・コト始め～民具の読み方を探る～」

講演者 : 神野善治氏（武蔵野美術大学名誉教授）

会場 : 成城大学 3号館 003 教室

参加費 : 無料

申込方法 : 12月10日（金）16：30までにお申込みフォーム

<https://www.seijo.ac.jp/events/jtmo420000011er5.html> からお申込みください。

お問い合わせ : 成城大学民俗研究所（平日 9：00～16：30）

E-mail : minken@seijo.ac.jp TEL : 03-3482-9097